

平成30年7月10日

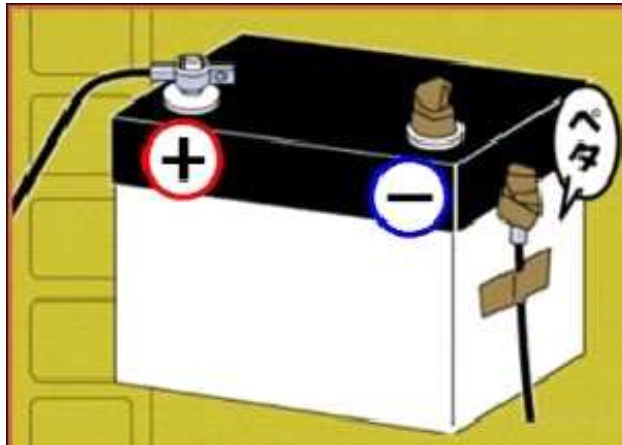
平成30年7月
豪雨関連

大雨で浸かったクルマ、水が引いても使用しないで

中国運輸局では、平成30年7月豪雨の被害を受けて、水に浸かった自動車ユーザーの方へ、感電事故や、電気系統のショート等による車両火災を防止するための注意喚起を行っています。

大雨等による浸水や冠水被害を受けて水に浸かった車両は、外観上問題がなさそうな状態でも、感電事故や、電気系統のショート等による車両火災が発生するおそれがありますので、以下のように対処して下さい。

1. 自分でエンジンをかけない。
2. 使用したい場合には、お買い求めの販売店もしくは、最寄りの整備工場にご相談下さい。特に、ハイブリッド車(HV)や電気自動車(EV)は、高電圧のバッテリーを搭載していますので、むやみに触らないで下さい。
3. なお、使用するまでの間、発火するおそれがありますので、バッテリーのマイナス側のターミナルを外して下さい。



※ 外したターミナルがバッテリーと接触しないような措置（テープなどで覆う）をして下さい。

(注) JAF[一般社団法人日本自動車連盟]及びJAMA[一般社団法人日本自動車工業会]のHPにおいて、同様の注意喚起がされておりますので、ご参照下さい。

・ JAF の HP : http://www.jaf.or.jp/profile/news/file/2010_45.htm

・ JAMA の HP : <http://www.anzen-untten.com/home/a1/b1/trouble003.html>

<http://www.anzen-untten.com/home/carlife-all/carlife/index.html>

【資料配付先】 JR 記者クラブ、合同庁舎記者クラブ、広島経済記者クラブ、県政記者クラブ

【問い合わせ先】 中国運輸局自動車技術安全部 TEL 082-228-9142
整備・保安課 中村・内田 FAX 082-228-9148